

授業科目 相談援助演習 IV

【担当教員名】 春木 邦子		対象学年	3	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：GIO】 地域福祉援助活動（コミュニティワーク）の事例をもとに、ニーズ把握からサービス評価に至るプロセスについて、小グループでのディスカッションと全体発表を段階的に積み重ねながら、一連の援助過程を実践的に理解するとともに、それを理論的に体系立てられる思考力と表現力を身につける。 保健・医療・福祉の連携、地域ネットワークの活用や連携における専門職としての視点（思考）と方法（技能）を学び、その習得を目指す。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 地域住民へのアウトリーチとニーズ把握について実践的に取り組む 2. 地域福祉計画について実践的に取り組む 3. ネットワーキングについて実践的に取り組む 4. 社会資源の活用・調整・開発について実践的に取り組む 5. サービスの評価について実践的に取り組む					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーションとグループの編成				講義・演習（アイス・ブレイキング）
2	地域福祉援助活動の展開 1			1	グループでの演習および作業
3	地域福祉援助活動の展開 2			1	グループでの演習および作業
4	地域福祉援助活動の展開 3			1	グループでの演習および作業
5	地域福祉援助活動の展開 4			2	グループでの演習および作業
6	地域福祉援助活動の展開 5			2	グループでの演習および作業
7	地域福祉援助活動の展開 6			3	グループでの演習および作業
8	地域福祉援助活動の展開 7			3	グループでの演習および作業
9	地域福祉援助活動の展開 8			4	グループでの演習および作業
10	地域福祉援助活動の展開 9			4	グループでの演習および作業
11	地域福祉援助活動の展開 10			5	グループでの演習および作業
12	地域福祉援助活動の展開 11			5	グループでの演習および作業
13	事例検討の考察・総括 1			1, 2, 3, 4, 5	成果発表 意見交換 他
14	事例検討の考察・総括 2			1, 2, 3, 4, 5	成果発表 意見交換 他
15	まとめ			1, 2, 3, 4, 5	意見交換 討論 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		社会福祉士 相談援助演習	日本社会福祉士養成校協会 監修	中央法規	2009・2,600円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、参加態度、課題の達成度（発表やレポート）により総合的に評価する。			【履修上の留意点】 グループ演習が中心となるので遅刻、無断欠席は厳禁。		